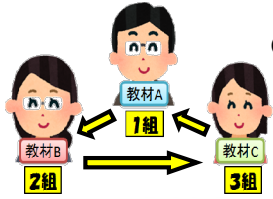


● 評価につながる具体的な取組

◆ 日々の評価

ローテーション道徳の実施



- 学期に一回程度、ローテーション道徳を取り入れ、担当する教材を各学級で行い、教材研究につなげる。

→ 複数の教師によって様々な視点からの見取り、評価を行う。



ワークシートの工夫



- 「自分の考え」「友達の考え」「学んだこと」「自己評価」の順に枠を設け、生徒が授業を通して考えが深まったり広がったりしていることを実感できるようにしている。

毎時間発行する道徳通信



- 生徒の考えを道徳通信に掲載してまとめることで、生徒同士が互いの学びや考えを共有できるようにしている。

→ 他者の考えから、学びに広がり、深まりが生まれる。

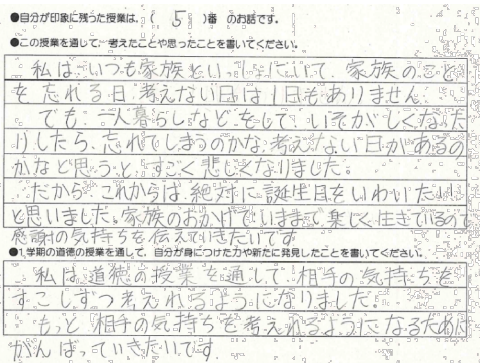
- 作成の過程で生徒の学びを把握し、授業を評価して授業改善に生かしている。

学期ごとの振り返りシートの活用

- 生徒が学期ごとのまとまりで道徳科での学びを振り返り、自らの成長を実感できるようにしている。

→ 学びを一過性のものにしない。

- 生徒の学びを把握し、生徒の道徳性の高まりに関わる評価に生かすとともに、授業改善へ生かす。



座席表の活用

- 授業中の生徒の様子（学習の様子）や発言を記録し、ポートフォリオとして

→ 道徳通信と併せて、評価・授業改善に生かしている。

道徳コーナーの活用



- 各学級で発行している道徳通信を展示し、他学級・他学年での学びを学校全体で共有できるようにしている。



- 道徳教育に関連のある書籍を展示し、授業以外の場でも道徳について交流できる場、興味・関心を高められる場を設けている。

ホームページの活用

- ホームページに道徳通信を掲載することで、家庭・地域との連携を図り、学校以外でも道徳の話題にふれる場を設けている。

→ 保護者にとっても新たな気づきの場となっている。

保護者の声

子どもがこんなことを考えているなんて知りませんでした！



◆ 通知表記載について

・2018年度（平成30年度）より、本校では、次のように道徳科の評価を通知表に記載している。

学習の様子について

教材について

評価物について

<評価の視点>

- ① 多面的・多角的な見方へと発展しているか。
- ② 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか。

自分を振り返り、先入観にとらわれず、新たな価値観を見つけようとする姿勢が見られました。特に、「りんごの何を食べるのか」の学習では、「真に豊かな生き方とはお金ではなくて、ひとつの物事からたくさんのことを味わうことであって、お金の事ばかり考えることは豊かでないと気付いた」と振り返るなど、新たな価値観に気付いていました。（157文字）

道徳通信

2018年(平成30年)12月5日 No.2



通知表へ記載する評価文の構成について参考にしてください！

昨年度の藤永先生からのご指導

- 評価は次の①、②をポイントとして行う。
- ①生徒の学習状況について
 - ・自分の考えを持っている、発表できている。
 - ・他者の考え、発表を聞いている。
- ②生徒の道徳性に係る成長の様子について
 - ・新しい考え、知らなかったことに出会っている。
 - ・既知の考えが深まっている。
- ※数値などによる評価は行わない。 → 記述式による評価
- ※他の生徒との比較ではなく、個人内評価（励ましの評価）
- ☆生徒にとっての評価の意味…自らの成長を実感し、意欲の向上につなげる
- ☆教師にとっての評価の意味…目標や計画、指導方法の改善・充実に取り組むための資料
- ・個々の内容項目ごとではなく、大括りのまとまりを踏まえる。（大括りのまとまり：学期や年間）
- ・見取る手立て…ワークシート、発表、授業中の行動観察 等

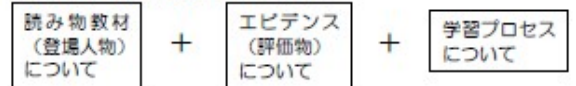
昨年度、藤永先生に評価の在り方について、①、②の2つのポイントを示して頂き、非常に分かりやすく教えて頂きました。



通知表の評価文の構成について

- 評価の視点（学習プロセス）
 - ①多面的・多角的な見方へと発展しているか。
 - ②道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか。

○通知表への評価文記述内容の構成例



<評価文例> (京都市教育委員会：『特別の教科 道徳 評価について』より)

自分を振り返り、偏見や先入観にとらわれず正しいことを見つめようとする姿勢が見られました。特に「シッタカブッタ」の学習の感想には、「全部を正しく見ているわけじゃないから、勝手に思い込んで差別が生まれると思う。人の嫌がることをしていないか考えて行動したい」と相手を考える気持ちが表れていました。

学習プロセスについて

読み物教材について
※内容項目を特定するものではない

自分を振り返り、偏見や先入観にとらわれず正しいことを見つめようとする姿勢が見られました。特に「シッタカブッタ」の学習の感想には、「全部を正しく見ているわけじゃないから、勝手に思い込んで差別が生まれると思う。人の嫌がることをしていないか考えて行動したい」と相手を考える気持ちが表れていました。

エビデンスについて

- 鳳中学校で取り組んでいる評価を見取るもの（エビデンス）
 - ・ワークシートによる振り返り
 - 道徳通信への記載（記載した生徒は名簿に記録）
 - ・学期ごとの振り返り
 - ・座席表を活用しての授業での様子の記録

教職員用の道徳通信や職員研修等を通して、評価についての共通理解をもっている。

